2023 ほんじょう No.212

CONTENTS

- 4. 特集 あなたの大切な人が認知症になったとしたら…
- 第17回中学生まちづくり議会
- 防災特集 災害時の「食」を考える
- 今月の PICK UP NEWS
- 本庄早稲田の杜ミュージアム開館3周年/郷土の偉人 塙保己一
- 七高祭#03/小規模特認校の入学・転入学生を募集します!
- 年金生活者支援給付金制度のお知らせ /ECO ガイド
- HotSpace ~ほっと一息、ホットな話題~
- くらしの情報 Station お知らせ、催し・講座、スポーツ、公民館
- 図書館だより 31.
- 市民相談 32.
- みんなの健康ガイド 医療メモ、休日・夜間の急病のときは…、

新型コロナワクチン接種のお知らせ ほか

子育て支援 TOPICS 新入学児童の健康診断を実施、学童クラ ブからのお知らせ、10月は里親月間です、

つどいの広場、HAPPY BIRTHDAY

きゅうり収穫体験 2023 in 仁手 / 広報アンケート

NEWS

9月21日から30日は秋の全国交通安全運動期間

9月21日休から30日出までは秋の全国交通安全運動期間で「早 めのライト点灯とながら運転の禁止 | を重点目標として定めています。 だんだんと日の入り時刻が早くなっているため、早めにライトを点灯 し、自分の存在を相手に知らせましょう。

また、自動車は時速40キロで走行した場合、2秒間で約22.2メー トル進みます。スマートフォンやカーナビを注視・操作中に歩行者が 道路を横断したり、目の前で車が停止していると、事故を起こす危険 性があります。ながら運転はやめ、前方をよく見て運転しましょう。

★危機管理課☎ 25-1184

\PICK UP / 今月の表紙



認知症の方との関わり方を考える

本号の表紙は、オレンジカフェ(認 知症カフェ) で行われたレクリエーシ ョンの「コロッケ作り」を撮影した写

誰もが無関係ではいられない認知 症。4ページからは、大切な人が認知 症になったとしたらどうすればよいの か、何が大切なのかを特集しています。 ぜひご覧ください。

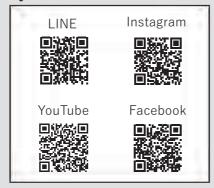
人の動き(2023.8.1現在)

		前月比
総人口	77,412	- 31
男	38,717	+ 9
女	38,695	- 40
世帯数	36,158	- 1

(人口増減の内訳)

自然増減		社会増減	
出生	37	転入	266
死亡	77	転出	256
増減	- 40	増減	10
その他の増減			- 1

© C H E C K 市公式 SNS



感染症の拡大を防止するため、施設利 用や催し等へ参加の際、消毒、検温等 へのご協力をお願いすることがありま す。また、掲載している催し等が中止 ・変更になる場合があります。市ホー ムページ、問い合わせ先へご確認くだ さい。





災害をより身近に体験!

V R 災害体験講座

7月25日、本庄早稲田国際リサーチパークでVR 災害体験講座が開催(主催:本庄市シニアクラブ連合 会「本庄市老人クラブ連合会]) されました。

この講座では、災害時に何が起こるのかをVRゴー グルをとおして仮想体験したり、スマホを活用した災 害対策についての講義が行われました。参加した皆さ んは、災害が起きるときの兆候や、起きたときの恐ろ しさについて V R でより身近に体験し、学びました。

2050年までに二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指す

"SDGs"な環境DAY

7月30日、セルディを会場に"SDGs"な環境 DAYが開催されました。

参加した皆さんは、ミネラルウォーターの飲み比べ や電気自動車モデルカーの組立・走行体験、ダンボー ルコンポスト講習会といった、森林や水、電気、ごみ 問題等に関するプログラムを体験、さまざまな視点か ら持続可能な社会についての理解を深めました。





被災地に思いを込めて

「アシスト瓦」づくり

7月30日、共和公民館で、小中学生を対象としたボ ランティアスクールが開催されました。災害ボランティ アセンター運営訓練と同時開催で行われ、講義や炊き出 し体験のほか、アシスト瓦作り体験等が行われました。

アシスト瓦作りに参加した子ども達は、ダンボール と防水シートだけでできているにもかかわらず、本物 の瓦の代わりとして数か月使用できるという丈夫さに 驚きながらも、真剣に作製していました。

子どもたちが『イチ推し資料』を紹介

こども学芸員によるガイドツアー

8月11日、本庄早稲田の杜ミュージアムで、こど も学芸員講座【魅力発信コース】の活動発表会『こど も学芸員によるガイドツアー』が開催されました。

こども学芸員たちは、埴輪やガラス小玉鋳型といっ た事前に調査しておいた「イチ推し資料」をそれぞれ 紹介、ツアー参加者は興味深く聴き入っていました。

